

当院で肺癌と診断され、大阪労災病院泌尿器科で副腎摘除術を受けられた
患者様、ご家族様

当院では大阪労災病院泌尿器科と共同で以下の研究を行っています。

研究課題名「肺癌の副腎転移に対する副腎摘除術の治療効果について」

【研究の目的】肺癌はしばしば、副腎に転移をきたします。副腎のみに転移が認められる場合に、副腎を手術で切除することにより一定の効果がえられますが、長期の治療効果については未だ明らかではありません。そこで、当院で肺癌の副腎への転移と診断され、大阪労災病院泌尿器科で手術をされた患者さんの、現在の健康状態、再発がある場合には再発の状況を診療記録を用いて、副腎摘除術（ふくじんてきじょじゅつ）の効果を検討します。

【対象となる患者様】2008年から2014年の間に肺癌の副腎転移に対して大阪労災病院泌尿器科で副腎摘除術を受けた患者様（約10名）

【利用する情報】カルテの情報、画像診断（レントゲン検査、CT、MRI、PET検査）、手術の病理検査結果など。あらたな検査などは行いません。

【個人情報の取り扱いについて】お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報は利用いたしません。また、研究成果は学会や学術集会雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用いたしません。

【本研究の資金源について】

なし

お問い合わせや研究対象となることを拒否される場合は、下記連絡先までお願いいたします。

(1) 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

TEL 072-252-3021 (代表)

外科 松村晃秀 (まつむら あきひで)

(2) 大阪労災病院

TEL 072-252-3561 (代表)

泌尿器科 岡田 宜之